注）この用紙は個別指定の情報提供を行う様式です

記入日：

1　京町家の所在地

所在地	京都市　　区

※ 番地まで正確に記入をしてください（所在地は京都市内に限ります）

2　情報提供者について

情報提供者の氏名 (法人その他の団体はその名称及び担当者名)	
住所	〒
電話	※ 昼間に連絡が取れる番号を記入してください
Mail	

情報提供者と情報提供を行う京町家との関係について、該当する□にチェック☑をお願いします

□ 所有者（共有者を含む）　□ 借家人　□ 取得（購入）又は賃借予定者
□ 建築士・設計士　□ 大工　□ 不動産事業者
□ その他（　　）

該当する□にチェック☑をお願いします（情報提供者が単独で所有する場合は不要）

今回の情報提供について、建物所有者（共有者）にご説明されましたか？
□（はい）　□（いいえ）
（上記が「いいえ」の場合、差し支えなければその理由を記入して下さい）

3　提出書類

□ 京町家概要一覧表 ※ 下記の内容を基に記入してください
※ 代表的な写真を添付してください

□ 写真　※ 概要一覧表に添付のないものも添付してください
※ 外観・内観の写真を添付してください
※ 写真には撮影日がわかるようにしてください
※ 昔（概ね７５年以上前）の状況がわかる写真等があれば添付してください

□ 付近見取図（位置図）　※ 当該地がわかるものを添付してください

□ 建物図面　※ 手書きも可能です。間取がわかるものを添付してください

□ 登記事項証明書など所有者を確認できる書類

□ 築年を証する資料
※ 閉鎖登記簿や家屋評価調書（市税事務所で取得可）等を添付してください

～ 情報提供を行うにあたって、必ずご一読ください ～

（個別指定編）

4　応募に当たっての同意・確認事項

以下の内容を確認し、□内にチェックしてください。

□　情報提供いただく京町家は、京町家条例に規定する京町家★1に限ります。

□　皆さまからいただいた情報を基礎資料として、京町家条例に基づく個別指定★2の候補を選定するものであり、必ず指定するものではありません。

□　情報提供者と所有者が異なる場合は、可能な限り所有者への説明をお願いします（京都市から情報提供者の氏名・住所を同意なく所有者にお伝えすることはいたしません。）。

□　１軒の京町家に対して本様式を１部作成してください。長屋の場合は、住戸単位とし、本様式を各１部作成してください。

□　記入漏れ、内容が不明瞭なもの、情報提供者に連絡がつかないものは、情報提供を受付しかねる場合があります。

★1「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」第2条第1号に規定する「京町家」
★2「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」第17条に規定する「重要京町家」

京町家条例に定める京町家の定義

昭和 25 年以前に建築　※1		必須条件
木造建築物		
伝統的な構造…「伝統軸組構法」や「伝統構法」と呼ばれる構造		
都市生活の中から生み出された形態又は意匠	3 階建て以下	＋
	一戸建て又は長屋建て	
	平入りの屋根　※2	
	通り庭…道に面した出入口から続く細長い形状の土間	いずれか1つ以上を有する
	火袋…通り庭上部の吹き抜け部分	
	坪庭又は奥庭	
	通り庇…道に沿って設けられた軒	
	格子（伝統的なものに限る）…虫籠窓や京格子など	
	隣地に接する外壁又は高塀	

※1　建築年が不明な場合は、法務局で閉鎖登記簿（有料）を取得いただくと記載されている場合があります。
※2　「平入りの屋根」とは、建物の出入口が屋根の棟と平行する側（平）にあるもののことです。「『平入り屋根』の条件が適用されない場合」に該当するものは、適用されません。

5　応募理由（自由記述）

（例：通り庇や格子、坪庭や奥庭など、伝統的な形態・意匠が残っているため。
今後も保全していきたい京町家であるため。補助金の活用を検討しているため。）